

17. 副腎腫瘍

○

○: 専門とするがん ×: 診療を実施していないがん
 ※別紙5に入力した内容が反映されています。
 ※診療を実施していないがんについて、表の記載は不要

集学的治療・標準的治療の提供体制
 ○: あり ×: なし

○

No.	当該疾患の診療を担当している診療科名と医師数			治療の実施状況 (○: 実施可/×: 実施不可) / 昨年の実績 (あり/なし) ※平成25年1月1日~12月31日			各診療科における当該疾患の治療の特色・患者さんへのメッセージなど	当該疾患の治療に関する内容が掲載されているページ				
	主な診療科名 (5診療科まで)	医師数	当該疾患を専門としている医師数	手術	化学療法	放射線療法 体外照射		ページの見出しとアドレス ※トップページ以外を2つまで記載してください ※アドレスは、手入力せずにホームページからコピーしてください		掲載されている内容		
								治療内容	治療実績	医師の専門分野		
1	泌尿器科	2	2	状況 ○	○	×	低侵襲な腹腔鏡手術で腫瘍を摘除します。放射線療法は市立大学附属病院等と連携しております。	ア	http://			
				実績 なし	なし	なし		イ	http://			
2	外科	1	1	状況 ×	×	×	病状の進行に伴う種々の苦痛(特に疼痛)や抗がん化学療法に伴う苦痛の緩和に積極的に取り組んでいます。	ア	http://			
				実績 なし	なし	なし		イ	http://			
3				状況				ア	http://			
				実績				イ	http://			
4				状況				ア	http://			
				実績				イ	http://			
5				状況				ア	http://			
				実績				イ	http://			

昨年の治療実績ありの疾患名 ※平成25年1月1日~12月31日	例: 褐色細胞腫、副腎皮質がん
------------------------------------	-----------------